

2012年3月期

決算説明会資料



2012 年 5 月 10 日

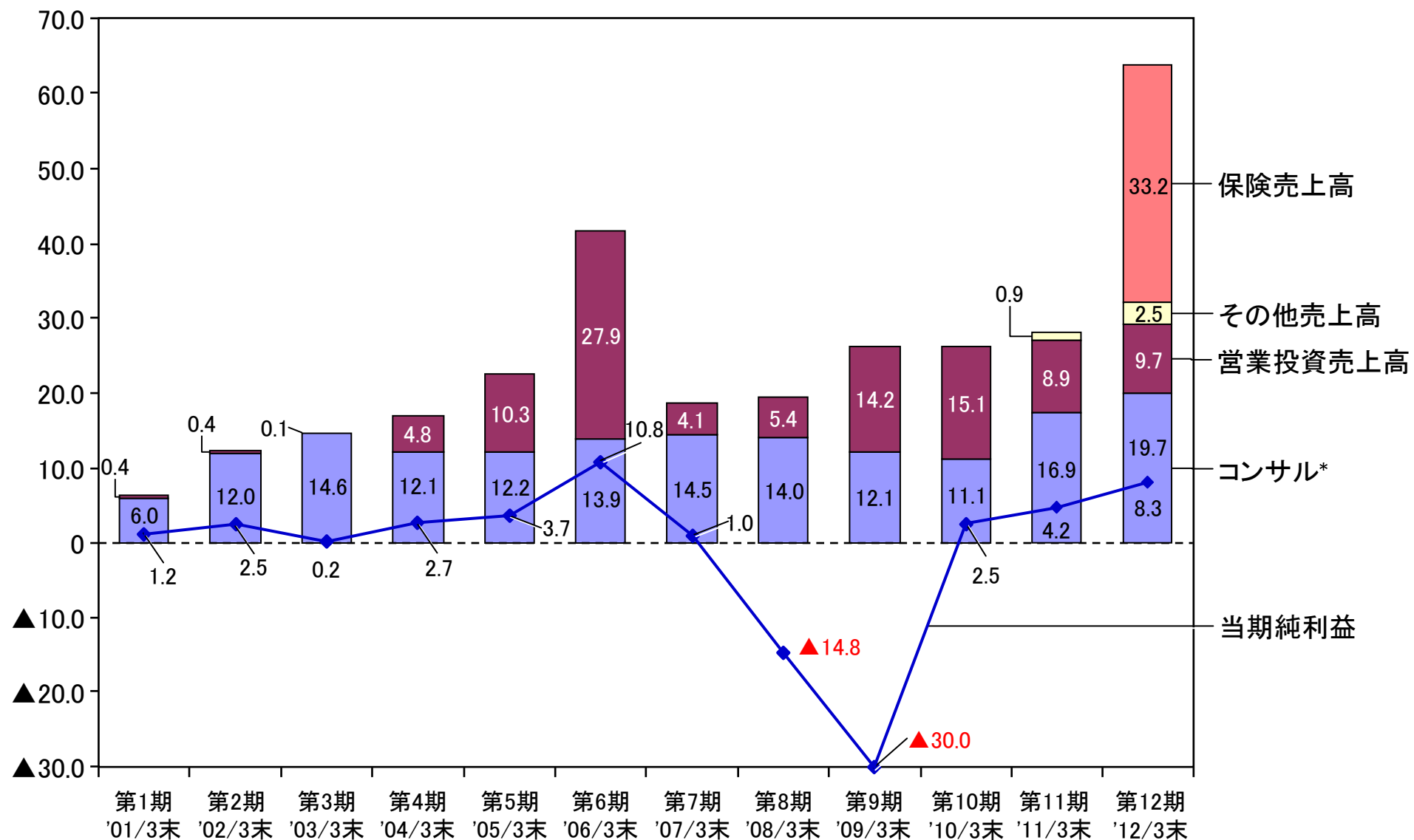
株式会社ドリームインキュベータ

注： 当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会などの情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化などの事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績予想などの数値は、その正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、お客様ご自身がなされるよう、お願いいたします。



連結業績推移

売上高/当期純利益
(億円)



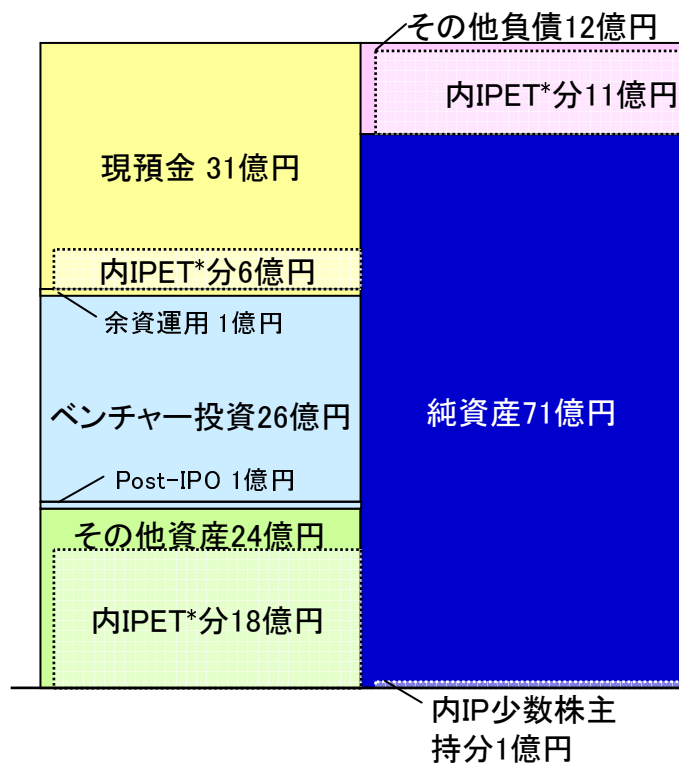
2012年3月期 連結P/Lサマリー

	2011年3月期	2012年3月期	対前年同期比 増減率
	(百万円)	(百万円)	(%)
コンサルティング売上	1,696	1,972	16.3
保険売上	—	3,325	—
営業投資売上	899	978	8.9
その他売上	95	251	163.2
売上高合計	2,690	6,526	142.6
コンサルティングサービス売上原価	855	1,105	29.2
保険料収入原価	—	1,550	—
営業投資原価	352	770	118.7
その他原価	98	183	86.7
販管費	683	1,815	165.7
売上原価・販管費合計	1,988	5,427	172.9
営業利益	702	1,102	57.1
営業外損益	▲4	2	—
経常利益	698	1,104	58.1
特別損益・税金・少数株主利益等	▲276	▲271	—
当期純利益	422	833	97.1

2012年3月末 B/S

2011年3月末

(総資産: 84億円)



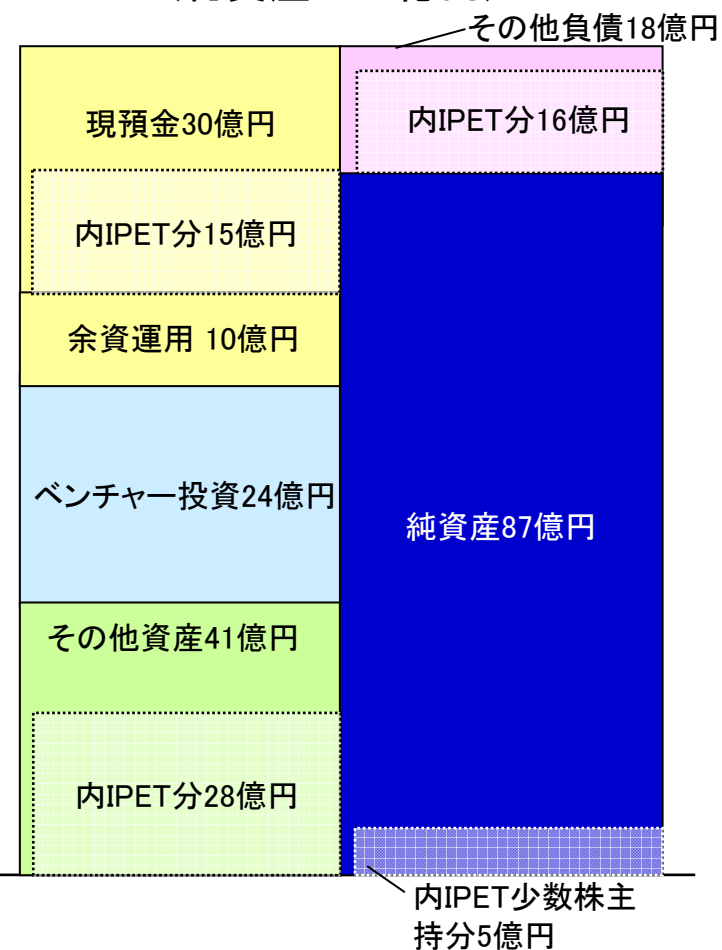
純資産 増減内訳

- 当期純利益 +8.3億円
- 評価差額金 +0.8億円
- 新株予約権 +0.6億円
- 少数株主持分 (IPET) +4.0億円
- 少数株主持分 (知財) +2.0億円

合計 +15.8億円

2012年3月末

(総資産: 105億円)



2012年3月末 人員数

ビジネスプロデューズ機能人員数

	2011年3月末			2012年3月末			対前期
	幹部・BP [*]	CA ^{**}	合計	幹部・BP	CA	合計	
東京本社	49	16	65	53	19	72	11%
海外拠点 ^{***}	8	2	10	14	3	17	70%
合計 ^{****}	57	18	75	67	22	89	19%

^{*} Business Producerの略
^{**} Corporate Administrationの略
^{***} ベトナム、中国、シンガポール
^{****} 常勤役職員合計(海外拠点を含む)

進化の方向性

初 期

コンサルティング



今 後

特徴を出したコンサルティング
(クライアントの事業・産業をプロデュース)

- トヨタ(グリーンシティ)
- 釜石市(復興のまちづくり)
-

ベンチャー投資育成



事業投資育成
(グループの事業としてプロデュース)

- アイペット(損害保険)
- リバリュー(リバースサプライチェーン)
- TGC(知財権)
-

12年を経て、“Business Producing Company”への移行を始めた

産業プロデュースへの取り組み例

釜石市と包括連携協定（2012年4月5日 釜石市との共同リリース抜粋）

岩手県釜石市とDIは、東日本大震災で大きな被害を被った釜石市が復興/まちづくりを実現していくなかで、お互いの知見を活用していくことを目指し、「包括連携協定」を締結しました。

提携の背景

- 釜石市は、東日本大震災により大きな被害を蒙りましたが、日夜1日も早い復興に努めております。また、震災以前から人口減少/少子高齢化といった今後、日本全体が直面する課題を抱えており、復興と同時に、こうした課題に取り組むことが求められております。
- 一方DIは近年、環境エネルギーや少子高齢化といった課題を、まちづくりの視点から解決する産業プロデュース活動を推進しており、これまでに豊田市社会システム実証などの先進的なプロジェクトを遂行して参りました。また、関連省庁/自治体と連携し、制度設計にも協力して参りました。
- このたび、釜石市とDIの保有する知見を活用し、次世代の地方都市のあるべき姿を描き、復興に役立てていくことを目指し、ここに協定を締結いたしました。

協定締結の目的と連携内容

- 協定の目的は、経済活動の活性化を念頭に、釜石の1日も早い復興を実現するために、互いの取り組み/知見、自治体/企業間のネットワークを活かすことです。具体的には、釜石市とDIは、下記事項で連携して参ります。
 - － 経済活動の活性化に向けた復興構想/プランの具体化に対するアドバイザー
 - － まちづくりについての知見提供/課題共有

事業投資育成の取り組み例

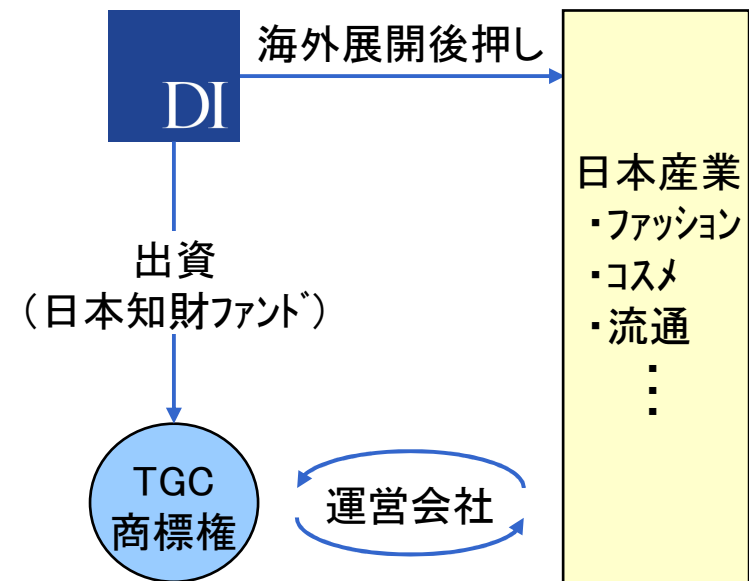
東京ガールズコレクション(以下、TGC)商標権への投資

目的

- 「日本の強み」を海外へ展開することで日本産業を活性化

アプローチ

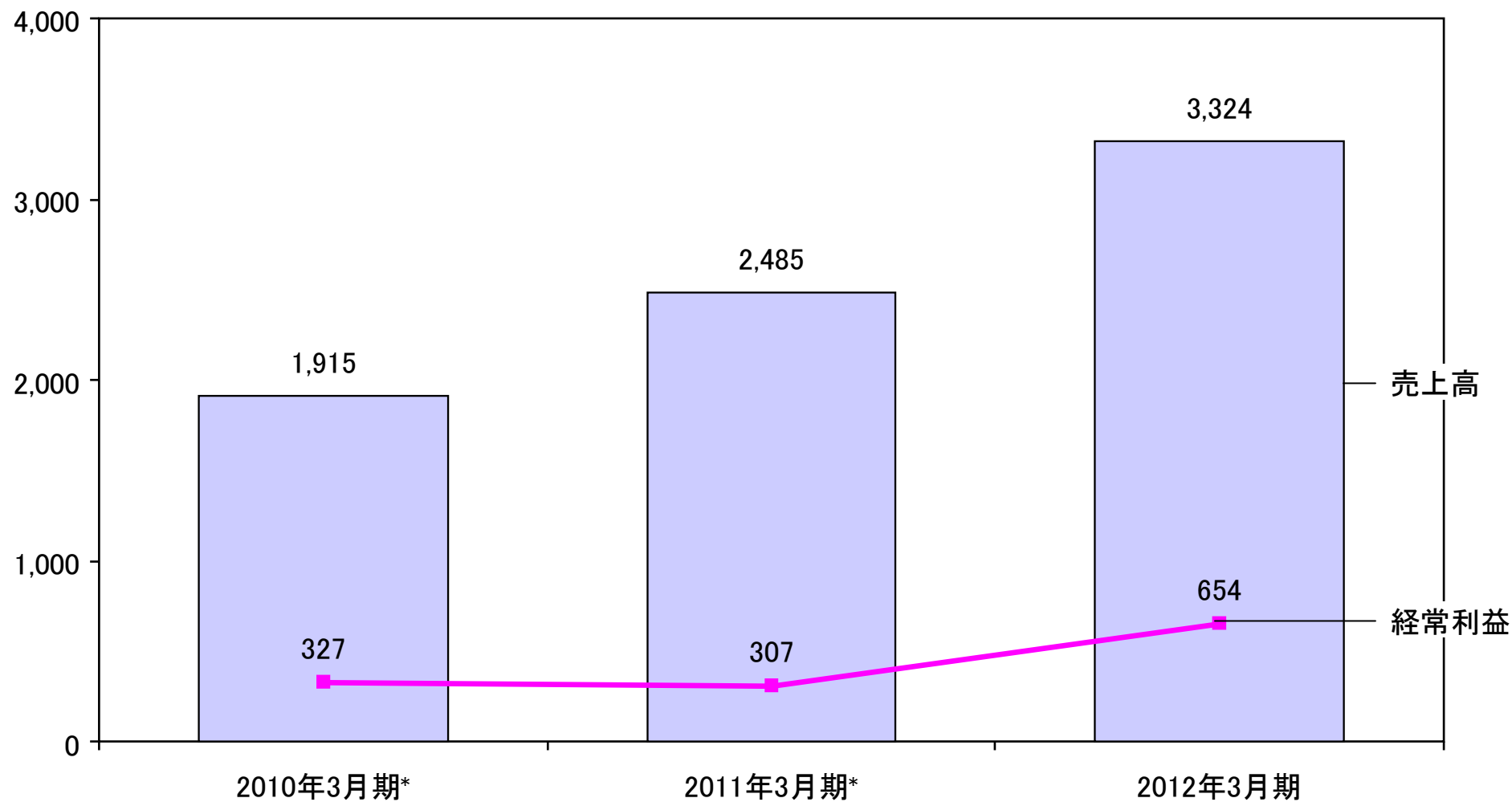
- TGCの商標権に、日本知財ファンドを通じて投資
 - － 日本文化の知財権を核
- 女性をターゲットとした消費財メーカー等の海外展開を後押し
 - － ファッション、コスメティック、流通等



保険事業

アイペット単体業績推移

売上高/経常利益
(百万円)



2012年3月30日に損害保険業の免許を取得

営業投資事業

	社 数 (社)	金 額 (百万円)
追加投資	1	5
主要ポートフォリオ [*]		
● IT・メディア	10	1,662
● 環境・エネルギー	6	350
● 少子高齢化	2	88
● サービス	4	315
● その他	2	176
合 計	24	2,595
収 支		
● ゲイン		452
● ロス/償却		300

* 簿価200万円以上の銘柄

P/L

コンサルティング

- 売上高成長率15%程度
 - － 海外事業の展開加速

事業投資育成

- 保険事業セグメント
 - － 売上高成長率25%程度
- その他セグメント
 - － リバリューの売上拡大、利益貢献開始
 - － 日本知財ファンド(TGC商標権管理)の利益貢献
- 営業投資事業セグメント
 - － 今期のIPOは見込んでいない
 - － アジア産業ファンドは投資フェーズのため、利益は見込まない

B/S

ネット・キャッシュ・ポジションはプラス維持

- 有利子負債は抑制(現状は無し)
- 資本調達の予定なし

ベンチャー投資ポートフォリオの良質化

- 多段階投資の徹底
- 投入資源マネジメントの強化
- 売却手法の多様化